

四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立三重北小学校

校長 宮田 毅

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- (1) 開かれた学校づくりを目指し、地域・保護者とともに共同できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら地域コミュニティづくりを推進します。
- (2) 教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いや願いを反映した学校づくりを推進します。
- (3) 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 地域の教育力をいかした特色ある教育活動の実践事例

①地域における体験的な学習活動

地域の方をゲストティーチャーとして迎え、地域資源をいかした体験活動の充実を図りました。1年生は、地域の長寿会の方々とともに、お手玉、けん玉、コマ回しなどのむかし遊びを体験しました。2年生は、町探検をしながら地域の寺社を始め旧跡を訪ね、話をきかせていただきました。3年生は、たけのこ堀り体験と炭火の七輪であられやかきもちを焼いて昔のくらし体験をしました。4年生は、防災学習として災害時に地域の一人としてできることについて学習し、校区の自主防災会委員の方々と一緒に避難所での生活体験を行いました。5年生は、学校の学校の前の田で田植え、稲刈りを体験しました。6年生は、地域の戦時中のくらしぶりや空襲の様子を教えてください、慰霊塔見学やお墓調べを行い平和学習をすることができました。



【1年生 むかしのあそび】



【2年生 町たんけん】



【3年生 昔のくらし】



【4年生 防災教室】



【5年生 田植え】



【6年生 平和学習】

②学習支援員による学習支援

地域住民や保護者に呼びかけ、さまざまな専門性をもった方を学習支援員として依頼しました。今年度は低学年の音楽、3年生以上の書写（習字）、3年生・4年生の外国語活動、5年生・6年生の英語の授業を支援していただきました。また、読み聞かせ支援員の方には、それぞれの学年に応じた選書をしていただき、毎学期1回程度の読み聞かせの活動をしていただきました。



【読み聞かせ学習支援】



【書写の学習支援】



【音楽の学習支援】



【英語の学習支援】

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

①子どもたちの学びに対する指導・支援の充実

保護者や地域の教育力をいかした教育活動を推進していくために地域協力員の方に定期的に学習支援をしていただきました。地域住民、保護者による学習支援員の活躍により子どもたち一人ひとりにきめ細やかな指導や支援を行うことができました。また、各々の教員がゲストティーチャーと協働し、その知識や専門性をいかした質の高い授業実践を推進することができました。

②地域コミュニティの核としての学校づくり

運営協議会委員長が学習コーディネーター役となり、各学年の教育活動に合わせて地域資源や地域の人材の活用をご支援いただいています。地域における体験的な学習を通して子どもたちは地域のことを知り、地域の方々と触れ合うことができました。そして、地域の歴史や地域産業等の学びは周りの人とともに地域を大切にしようとする心や将来の夢に繋がる取り組みとなりました。

3 今後に向けて

運営協議会委員をはじめ、保護者・地域の方の学校教育活動への支援は、子どもたちの学力向上とともに心の教育にもつながっています。そして、コミュニティスクールは、学校が小規模化し、教職員の負担が増加する中、授業づくり、学校行事、環境整備等地域の力の活用を図っていくパイプ役になっていただいています。また、学校では、学校づくりビジョンの実現に向けた取組を振り返り、成果と課題を明らかにしましたが、運営協議会委員には、子どもたちの様子や教師の指導など学校の現状を把握してもらった上で評価およびご助言・ご提案をいただきました。

今後も地域・保護者との連携した取組の意義を学校と地域が共有し、地域素材を活かした学習や体験活動等を年間計画に位置付けて推進していきます。そして、コミュニティスクールの実践を振り返り、次年度の学校づくりビジョン推進の取組の中でよりよく活かし、地域とともに協働する学校づくりを推進していきます。